

## 第1回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日時 平成31年2月8日(金) 13:30～15:30  
場所 鶴瀬コミュニティセンター第3集会室  
出席者 ○市民懇談会参加者

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 本間 | 関根 | 新井 | 中江 | 田屋 | 瀬戸 |
| 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 上川 | 永井 | 搦木 | 小栗 | 猪俣 | 大下 |
| 欠  | 欠  | 欠  | ○  | ○  | ○  |

○事務局

【生涯学習課】 鳥海課長(別件会議のため、途中退席)、  
松田副課長、加治主査

【地域文化振興課】 中嶋課長、佐藤主査、武井

1. 開 会 鳥海課長、中嶋課長

2. 自己紹介

- ・市民懇談会参加者
- ・事務局

3. 座長の選任

自薦・他薦がなかったため、事務局より猪俣氏を座長として提案。  
参加者より、了承を得たため、猪俣氏が座長として選任された。

4. 議 事

生涯学習課より、市民懇談会の役割と計画の全体概要を説明。  
また、補足として、今回の参加者の任期が計画見直しのスケジュールの関係上、見直し途中で任期終了とならないように1年に定めている旨を説明した。

参加者) 基本目標1の施策の柱4について、現在、児童館管理業務に携わっており、子どもに関して感じたことを意見として反映させたい。

参加者) 基本目標1の施策の柱5について、娘と一緒に学べる環境づくりや学校では学べないことが学べるといいと思う。

参加者) 市では出前講座などやっていると思うが、詳しく説明願いたい。

事務局) 市では、出前講座という形で職員が講師となり、市民を対象に無料で、業務を通して得た知識などを出張で講義している。県でも、県政出前講座を行っており、それについても市より情報提供を行っている。

参加者) 参加者の方の認識や計画の概要を見ると、高齢者や仕事をリタイアした人のためや、基礎学習の上に成り立つようなもののように感じている。しかし、本来、生涯学習とはすべての人のためでなくてはならない。

富士見市は、障がい者に対する環境づくりという点で優れた市であり、市立の特別支援学校が小・中・高等学校とあるのは、県内でも非常に珍しい。他市に誇れることである。

また、冊子についても概要版が正式版で、今の計画冊子が詳細版でもいい。誰もがわかりやすく、読みやすいものでなければならぬと思う。

参加者) 外国人やそのお子さんが参加できるスポーツクラブの設置をしてほしい。

外国人の方の受け入れ窓口を充実させてほしい。

また、子どもを対象とした事業が、各公共施設や担当課で点在してしまっており、市民への周知も点になってしまっているため、改善すべきだと思う。

参加者) 子どもを守るための声掛けが大事である。近年では、親により虐待などの痛ましい事件も多い。

普段から、小学生の登下校などに目を配らせている。

参加者) 不登校の子どもに対して、市はどのような取組を行っているのか。

事務局) 教育相談室が主な窓口になるが、学校や家庭以外での居場所づくりを各公共施設で行っている。

参加者) 生涯学習とは生きていくための力を養うことだと考えている。学校に戻すためではなく、自ら学ぶ力を身につけさせることが大事ではないか。

事務局) 先日、市が金融機関とも協定を結んだことにより、お金の仕組みなどを子どもに学ばせる機会を提供できないかという話もでてくる。市としても子どもたちの生きる力について、学ぶことができるように方法などを模索していく。

参加者) この計画自体が多岐に渡るため、どの施策に重点を置いてすすめていくのかを決めていく必要があると思う。

参加者) 障がいのある人ではなく、社会の側に障がいがあるという考え方をしていくべき。

生きるために必要な生涯学習とは?という視点から、重点的に進めていくものの洗い出しをしてはどうか。

例えば、お金の教育やキュレーション能力の育成などに着目するなど。

参加者) 市内への教育機関の招致について、市として前向きに検討してほしい。

## 5. その他

郵送にて謝礼の振込用口座確認を行うので、同封の返信用封筒に口座を記載し、返送してほしい旨を伝えた。

また、次回の会議にてマイナンバーの確認を行うことを伝えた。

以上